

2021年度能代市山本郡陸上競技選手権大会競技注意事項

本大会は2021年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則, 大会要項, 競技注意事項, 申し合わせ事項によって行う。

※来場および競技の参加にあたっての感染防止対策

- ①来場にあたってはマスク・マイタオルを持参し, 運動時を除いては原則マスクを着用する。
- ②ウォーミングアップ・招集時については, 競技役員の指示に従い, ソーシャルディスタンスを確保する。
- ③競技用具使用後は, 手洗いまたは手指消毒を行う。
- ④飲食等の際は, 感染リスクが高くなるため, 短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行う。なお, スタンドでの食事は禁止とする。(水分補給, 飲料の摂取は可)
- ⑤飛沫拡散を防ぐため, 応援や大声・近距離での会話を避ける。声を出しての応援, 集団での応援は行わない。
- ⑥ タオル, ペットボトル, コップ, 袋等の共用を控える。ゴミは各自持ち帰る。

★その他, 各自で可能な限りの感染防止対策を講じて, 安全・安心な競技会開催にご協力ください。

1 競技場の入退場について

- (1) 競技者の入場は, すべて競技役員あるいは補助員の誘導による。
- (2) リレーの一部を除き, 走り終わった者はAゲート(ゴール正面ゲート)より退場する。
- (3) フィールド競技の競技者は, 競技役員の指示に従って退場する。

2 競技場使用について

- (1) ウォームアップは風の松原内を原則とする。ただし, 時間を区切って競技場内も開放する場合がある。指定された場所, 時間を確認して, けが・事故のないように行う。なお, 投てき練習は競技場のみとし, 場外では決して行わない。
- (2) 本競技場は全天候につき, スパイクピンの長さはトラック競技7mm, フィールド競技9mm以内とする。スパイクピンの先端の直径は4mm以内でなければならない。なお, スパイクピンの数は, 11本以内とする。【TR5.3】
- (3) 救護室は, 本競技場内メインスタンド下の本部横に設置するが応急手当のみとする。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は, 本競技場本部北側(用具室)付近に設置する。通行が, 北側入口のみとする。
- (2) 競技者または代理人は出場種目の招集開始時刻後, 招集所に掲示した用紙の競技者ナンバーを○で囲む。競技者は招集完了時刻5分前までに招集所に集合し, 点呼を受ける。

種目	招集開始時刻	ビブス等の確認時刻	招集完了時刻
トラック	30分前	20分前	15分前→移動開始
フィールド	65分前	55分前	50分前→移動開始

- (3) 競技役員にアスリートビブスとスパイク, 衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けること。フィールド競技用シューズのTR5.5については適応除外(国内ルール)とする。これにより招集所での靴底厚確認のための計測は行わない。携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は持ち込めない。

- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 競技を棄権するときは、招集完了時刻5分前までに競技者係に申し出る。

4 アスリートビブスについて

- (1) 中学生、高校生についてはそれぞれ中体連・高体連指定のものを使用する。なお、小学生・一般については主催者の準備したものを使用することとする。また、腰ナンバーは主催者で準備する。
- (2) アスリートビブスは胸と背にはっきり見えるように付ける。ただし、小学生・一般は胸にだけ付ける。なお、走高跳、棒高跳の競技者は、胸または背に付けるだけでよい。【TR5.7 一部除外】
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーをランニングパンツ右側の上部やや後方につける。シールタイプ以外のものは、使用後に主催者に返却する。【TR5.10】

5 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程およびピットを変更することがある。
- (2) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンを空ける。
- (3) 計時は、原則として電気計時(写真判定による0.01秒)とする。
- (4) タイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は、本人もしくは責任者による抽選とする。
- (5) 記録の発表は、通告をもって正式とする。
- (6) リレーオーダー用紙は競技開始時刻75分前までに競技者係に2部提出する。決勝においてもメンバーの変更の有無にかかわらず前記のとおり提出する。用紙は招集所に用意しておく。
- (7) リレーチームの編成メンバーは、一度予選に出場した後でもそのメンバーを2名以内に限りほかの競技者と交代することが出来る。また、走者順を変えることもできる。ただし、交代する競技者は、あらかじめリレー種目、またはそれ以外の種目に申し込んでいる競技者に限る【TR24.10】
- (8) リレーのオーダー用紙を競技開始時刻75分前までに提出しない場合は、棄権したものとして処理する。
- (9) リレー競技においては、原則学校・チームの同一ユニフォームを着用する。事情がある場合は、大会事務局に申し出る。
- (10) リレー競技のマーカ―は、各自で用意し、使用したマーカ―は、そのチームで処理する。なお、マーカ―は1カ所、幅50mm・長さ400mm以内とする。【TR24.3】
- (11) 短距離種目では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。【TR17.3】
- (12) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行う。
- (13) 競技者は競技をするとき以外はトラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (13) 競技者に対する助力については、【TR6.3】を適用する。
- (14) 抗議申立書は【TR8】によって総務に提出すること。

6 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方(詳細は、大会当日の責任者会議で決定)

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m25	1m30-1m35-1m40-1m45-1m50-1m53-1m56
	女子	1m05	1m10-1m15-1m20-1m25-1m30-1m33-1m36
棒高跳	男子	1m90	2m00-2m10-2m20-以後、10cmずつ

- (1)走高跳及び棒高跳で上記以後の高さは、最後の一人になり優勝が決まるまでは走高跳は3 cm、棒高跳は10 cmきざみとする。優勝を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2 cm、棒高跳で5 cmきざみとする。
- (2)棒高跳の支柱移動申請書は提出しない。競技開始前に跳躍場にて競技役員に直接申し出る。

7 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。

8 表彰について

- (1)各種目の表彰は、成績を正式通告したのち、準備ができ出来次第行う。
- (2)小学生は1～8位に賞状授与、その他の選手に記録賞を授与する。中学生以上は1～3位に賞状を授与する。

9 商標について

- (1)競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を順守すること。
 - ①上半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積30平方cm以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。製造会社の表示は1カ所のみとする。
 - ②下半身の衣類…製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積20平方cm以内、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。
 - ③バッグ…製造会社のロゴは2カ所にまで、それぞれの面積は、25平方cm以内のものとする。
- (2)競技役員から指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (3)詳細は、(公財)日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規定」に従うこと。

10 その他

- (1)テントは周囲に配慮し設置すること。設置する際には、ロープを通路手すりにつなぐなど、通行の妨げとなることのないよう注意する。メインスタンド内に、日除け用にテント類を設置することは慎む。
- (2)横断幕、のぼりの設置場所は、サイドスタンド最後部のフェンスとする。設置にあたっては、通行の妨げにならないよう十分配慮すること。
- (3)場内でのマナーに関して次の点に心がける。
 - ①本部付近は、競技役員、大会関係者以外立ち入り禁止とする。選手は通行を控える。
 - ②選手の付き添いは、競技場内へは立ち入りを認めない。
 - ③コロナ感染防止対策、飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。声を出しての応援、集団での応援は行わない。
 - ④メインスタンド内において、出入り口付近、通路、最前列の手すり付近に立って観戦することは禁止する。また、サイドスタンドから競技場内に降りての観戦も厳に慎む。
- (4)ゴミは各校持ち帰りを原則とする。
- (5)本競技場の練習レーン区分は、練習場所区割を参照する。リレーのバトン練習は、2～3コーナーを利用する。4コーナーは衝突防止のため禁止する。

写真及び動画 (VTR) 等の撮影に関する注意事項

競技会開催時で問題となっている不審者（盗撮）への対応について、以下のことについて関係各所に周知していただき、ご協力をお願いいたします。

- (1) 撮影者は、大会主催者が許可した者に限る。（首からかける許可証を発行）
- (2) 引率、部活動指導員、外部指導者、保護者の撮影は、大会当日に本部事務局で発行された許可証がある者のみとする。⇒特に、保護者に関しては、トラブル防止のため、事前に各責任者・学校より十分に周知してください。
- (3) 疑わしい状況があった場合は、潔白を証明するため、撮影機材（スマートフォン、コンパクトカメラ、タブレット、一眼レフカメラ、ビデオカメラ等）の提示をお願いする場合があります。
- (4) 撮影時は、許可書が見えるようにご注意ください。不明な場合は、場内指令、マーシャル、大会役員からお声をかける場合があります。応じられない場合は、状況を記録させていただきます。
- (5) 競技会当日、不審な方を見かけた方は、直ちに役員、本部へ連絡してください。

★ 記録速報 ★ ※下のQRコードを、スマホのカメラで撮影して情報を入力ください。

競技結果通告後に随時更新(予定)



←本大会の情報は、Twitter【能代市山本郡陸上競技協会
@noyamatf05Akita 能代市山本郡陸上競技関連情報を掲載】に掲載

能代市山本郡陸上競技協会HPでも確認できます。→

<https://noyamatf05akita2019.wixsite.com/mysite>

